MA1407-B © 2014 CASIO COMPUTER CO., LTD.

CASIO®

P

方位・温度計測機能

5415P*JA

取扱説明書

5415

このたびは、本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

◆計測機能について

- 専門的な計測器ではありません。
  計測機能は、目安としてお使いください。
- 方位計を本格的な登山などでご使用になるときは、必ず予備のコンパス（方位磁針）を携帯してください。
  予備のコンパスと比較して計測した方位が異なる場合は、正しい方位を計測するため、2 点補正をしてください。
  - 永久磁石（磁気アクセサリーなど）、金属類、高圧線、架線、家庭電化製品（テレビ、パソコン、携帯電話など）の近くのような、強い磁力がある場所では正しく計測や補正ができません。

参照　方位を補正する…P.23

この時計の特長

この時計は、次の機能を備えています。

◆方位がわかります

北の方向や目標の方位を調べることができます。

→ P.22

◆温度を計測できます

→ P.30

◆ワールドタイムがわかります

世界 48 都市（31 タイムゾーン）と UTC（協定世界時）の時刻を表示できます。

→ P.32

◆ストップウオッチとして使えます

経過時間を計測できます。

→ P.34

◆タイマーとして使えます

設定時間をカウントダウン計測します。予定の時間になると、タイムアップ音でお知らせします。

→ P.35

◆アラームを設定できます

設定した時刻になると、アラーム音でお知らせします。

→ P.36

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠**危険**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠**警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠**注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています（左の例は感電注意）。



⃠ 記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています（左の例は分解禁止）。



● 記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）。

⚠ 警告

スキューバダイビングには使用しないでください

本機をスキューバダイビングに使用しないでください。
- 本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとさび易くなります。

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

① 金属・皮革に対するアレルギー
② 時計の本体およびバンドの汚れ・さび・汗等
③ 体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

⚠ 注意

分解しないでください

本機を分解しないでください。けがをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やけがの予防のため、十分に安全が確認された場所で行ってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、バンドの中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬけがやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

⚠ 注意

ご使用にあたって

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のけがやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

時計本体（裏ぶたを含む）やバンドに製品保護シールが付いている場合は、ご使用になる前に必ずはがしてください。シールをはがさずにご使用になると、「時計本体やバンド」と「シール」との隙間に汚れが付着し、さびやかぶれの原因となることがあります。

オートライト作動時のご使用について

オートライト作動状態のとき、本機を腕につけて自動車などを運転すると、不用意にライトが点灯し、運転の妨げになり危険ですのでおやめください。交通事故の原因となることがあります。

目次

この時計の特長 1

安全上のご注意 2

本書について 10
- 本文中の記号について 10
- 操作部と画面表示について 10
- 液晶表示について 11

ご使用になる前に 12
- 時刻と日付の設定 12

モードの種類と切り替え 14
- 各モードでできること 14
- モードの切り替え 15
- 共通機能 16

時刻を見る 17

時刻を合わせる 18
- ホーム都市の設定 18
- 12/24 時間制、時刻、日付の調整 19

方位計測 22
- 方位を計測する 22
- 方位を補正する 23
- 方位の記録（ベアリングメモリー） 26
- 方位計測のご注意 28

温度計測 30
- 温度を計測する 30
- 温度の計測値を補正する 30
- 温度計測のご注意 31

ワールドタイム 32
- ワールドタイムモードを選ぶ 32
- ワールドタイム都市、サマータイムを設定する 32
- ホームタイムとワールドタイムの入れ替え 33

ストップウオッチ 34
- ストップウオッチモードを選ぶ 34
- 計測する 34

タイマー.....35
計測時間を設定する..... 35
計測する..... 35
タイムアップ音を止める..... 35

アラーム・時報.....36
アラームモードを選ぶ..... 36
アラーム時刻を設定する..... 36
アラーム・時報の ON/OFF..... 37
アラーム音を止める..... 38
アラーム音を確認する（モニターアラーム）..... 38

ライト.....39
ボタンを押して点灯させる..... 39
自動的に点灯させる（オートライト）..... 39
点灯時間を切り替える..... 41

針のずれ補正.....42
針のずれを補正する..... 42

ボタン操作音の ON/OFF.....43

電池の交換時期.....44

故障かな？と思ったときは.....45
時刻設定..... 45
ワールドタイム..... 45
電池..... 45
方位、温度の計測..... 46
方位の計測..... 46

主な機能表示.....47

製品仕様.....48

ご使用上の注意.....50

お手入れについて.....54

電池交換について.....55

金属バンドの駒詰めについて.....55

UTC（協定世界時）とタイムゾーン.....56

都市コード一覧表.....57

本書について

本文中の記号について

注意：誤った使用方法によるけがや故障を防ぐための情報を記載しています。

重要：正しく使用するために必要な情報を記載しています。

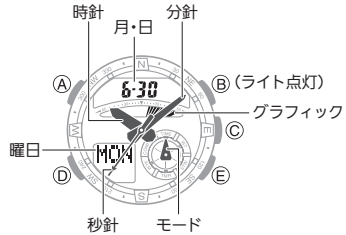
参考：各機能や操作の説明に関する補足情報を記載しています。

：詳細の説明や関連する項目などの参照ページを案内しています。

操作部と画面表示について

この時計の操作は、Ⓐ～Ⓔ ボタンを使用します。また、各表示部の意味は以下のとおりです。

主な機能表示…P.47



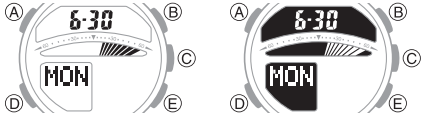
参考

- この取扱説明書に記載しているイラストは、視認性を考慮して実際のものとは異なる描写をしているものがあります。ご了承ください。

液晶表示について

製品によって、液晶表示のタイプが異なります。本書に記載しているイラストは、視認性を考慮して「白地に黒」で描写しております。

- 液晶表示のタイプは製品によって決まっているため、1 つの製品でタイプを切り替えることはできません。



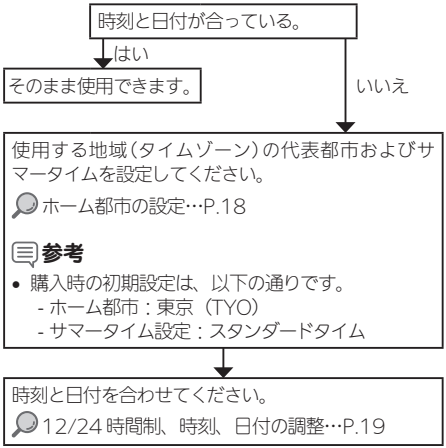
ご使用になる前に

この時計をお使いになるには、「時刻・日付」の設定が必要です。
時刻と日付の表示を合わせたら、「モードの種類と切り替え」と操作したい機能の説明をお読みください。

モードの種類と切り替え…P.14

時刻と日付の設定

時刻と日付の表示を確認して、チャートに従ってください。



重要

- この時計を日本以外の国で使用する場合は、使用するタイムゾーンを確認してホーム都市およびサマータイム（DST）を設定してください。

UTC（協定世界時）とタイムゾーン…P.56

参考

- どのモードで操作していても、Ⓓ ボタンを約 2 秒間押し続けると時刻モードに戻ります。1 つのボタン操作で時刻モードに戻りたいときにお使いください。

モードの種類と切り替え

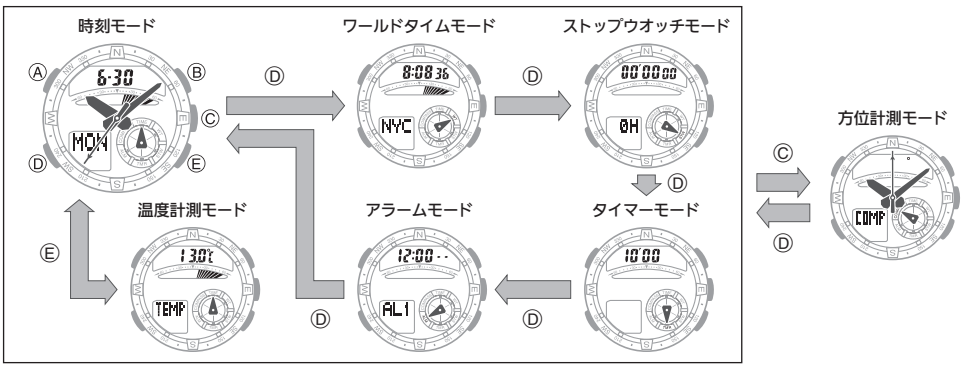
この時計には、機能に応じた 7 つのモードがあります。各モードの機能とモード切り替え方法は以下の通りです。
また、各モードに共通している機能や操作は、16 ページを参照してください。

各モードでできること

モード	機能	参照ページ
時刻	• ホーム都市の時刻表示 • 時刻、日付、サマータイムの設定	P.17 P.18
方位計測	• 北の方向や、目的地の方位の計測 • 方位の記録（ベアリングメモリー） • 地図上での現在位置の確認	P.22
温度計測	現在の温度表示	P.30
ワールドタイム	世界 48 都市（31 タイムゾーン）と UTC（協定世界時）の時刻を表示	P.32
ストップウオッチ	経過時間の計測	P.34
タイマー	タイマーの設定、計測	P.35
アラーム	• アラーム時刻の設定 • 時報の ON/OFF 設定	P.36

モードの切り替え

ボタンを押すごとに、以下のモードに切り替わります。



参考

- どのモードで操作していても、Ⓓ ボタンを約 2 秒間押し続けると時刻モードに戻ります。ボタン操作音が ON に設定されているときは、このときピピッと 2 回高い音が鳴ります。
- ボタン操作音が ON に設定されているときは、ⒸⒹ ボタンを押すごとに音が鳴ります。時刻モードに戻るときは、高い音が鳴ります。
  ただし、Ⓔ ボタンでモードを切り替えたときは音は鳴りません。

ボタン操作音の ON/OFF…P.43

共通機能

以下の機能と操作は各モードに共通しています。

◆自動表示切り替え

- 各モードで何も操作せず時間が経過すると、時刻モードに自動的に戻ります。

モード	経過時間
アラーム、方位計測	約 3 分間
温度計測	約 2 分間
時刻などの設定中 （デジタル表示が点滅）	約 3 分間

◆早送り

- 各モードで設定をするとき、Ⓑ および Ⓔ ボタンを押して設定内容を変更します。
- Ⓑ または Ⓔ ボタンを押し続けると、設定値を早送りできます。

◆グラフィック

- 時刻モード、ワールドタイムモード、ストップウオッチモード、タイマーモードでは秒の経過を示します。
- 方位計測モードのベアリングメモリーでは目標方向を示します。

方位の記録（ベアリングメモリー）…P.26

グラフィック部

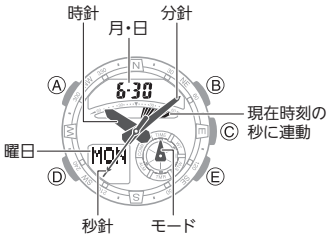


時刻を見る

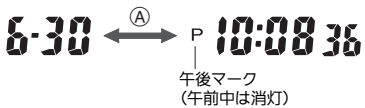
現在の時刻と日付・曜日を表示します。Ⓐ ボタンを押すごとに、月・日表示と時・分・秒表示が切り替わります。

参考

- 12 時間制表示に切り替えると、正午から午後 11：59 まではP（午後）マークを表示します。
- グラフィックが秒の経過を示します。



表示切り替え



時刻を合わせる

現在の時刻と日付を設定します。

ホーム都市の設定

ホーム都市は、都市コード一覧表の 48 都市（31 タイムゾーン）の中から、この時計を使用する場所と同じタイムゾーンの都市を設定します。また、使用する国や地域に応じてスタンダードタイムまたはサマータイム（DST）の設定をします。ホーム都市を正しく設定しないと、「ワールドタイム都市」の時刻を正しく表示しない原因になります。

都市コード一覧表…P.57

重要

- 日本で使用する場合は、ホーム都市を東京（TYO）に設定します。

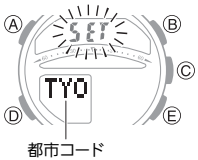
参考

- サマータイムとは、DST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻（スタンダードタイム）から 1 時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの実施期間や実施地域は、国によって異なります。また、サマータイム制度を採用していない国や地域もあります。

◆ホーム都市、サマータイムを設定する

❶ 時刻モードで Ⓐ を押し続け、［ADJ］と表示されたらボタンから手を離します。

- ［SET］が点滅表示し、設定状態に入ります。
- 都市コードと都市名が右から左に流れて表示します。



❷ Ⓔ または Ⓑ ボタンを押して、都市コードを選択します。

- 設定したい都市コードを表示するまで、Ⓔ または Ⓑ ボタンを押します。
- Ⓔ または Ⓑ ボタンを押し続けると早送りできます。

❸ Ⓓ ボタンを押して、サマータイム（DST）設定画面に切り替えます。

❹ Ⓔ ボタンを押して、サマータイム（DST）の設定を選択します。



Ⓔ ボタンを押すごとに以下の設定が切り替わります。

DST OFF	スタンダードタイムを表示します。
DST ON	サマータイムを表示します。

❺ Ⓐ ボタンを押して設定を終了します。

サマータイムを設定すると時刻モード画面に、［DST］を表示します。

参考

- ホーム都市を「UTC」に設定しているときは、サマータイム設定はできません。

12/24 時間制、時刻、日付の調整

画面表示の時刻を修正すると、それに応じて針の時刻も修正されます。

重要

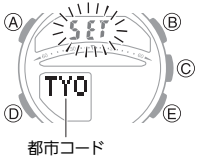
- 画面表示の時刻と針が示す時刻が合っていないときは、針のずれ補正を行う必要があります。

針のずれ補正…P.42

◆時刻と日付の合わせかた

❶ 時刻モードで Ⓐ を押し続け、［ADJ］と表示されたらボタンから手を離します。

［SET］が点滅表示し、設定状態に入ります。



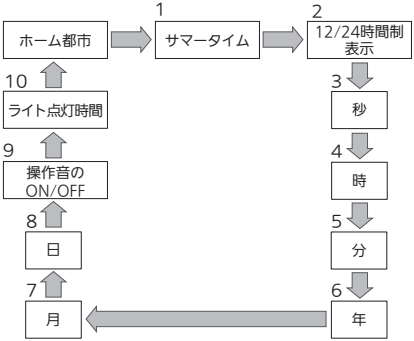
ホーム都市の設定…P.18

重要

- ホーム都市を設定する前に他の設定をしないでください。

❷ Ⓓ ボタンを押して、設定する項目を選択します。

Ⓓ ボタンを押すごとに以下の順序で設定項目が切り替わります。



参考

- 上図の数字は、Ⓓ ボタンを押す回数を示します。

❸ Ⓔ または Ⓑ ボタンを押して、以下の設定を変更します。

画面	変更項目	操作
TYO:TOKYO	都市コード変更	Ⓔ または Ⓑ ボタンを押す
OFF	サマータイム / スタンダードタイムの切り替え	Ⓔ ボタンを押す
12H	12 時制（12H）と 24 時制（24H）の切り替え	Ⓔ ボタンを押す
36	秒を「00」にリセット - 30 ～ 59 秒のときは 1 分繰り上がります	Ⓔ ボタンを押す
P 10:08	「時」「分」の変更	Ⓔ または Ⓑ ボタンを押す
6-30 20 14	「年」「月」「日」の変更	Ⓔ または Ⓑ ボタンを押す

❹Ⓐ ボタンを押して、設定を終了します。

参考

- 12 時間制に設定したときは、正午から午後 11：59 までは P(午後)マークを表示します。24 時間制の場合は、P（午後）マークを表示しません。
- 日付の設定は、月ごとの日数の違いや、うるう年にも対応しています（フルオートカレンダー）。
- 「曜日」は自動的に設定されますので、「年」は正しく設定してください。

方位計測

北の方向や目標の方位を調べることができます。

重要

- 正確に計測するために、「方位を補正する」（23 ページ）、「方位計測のご注意」（28 ページ）をご覧ください。

方位を計測する

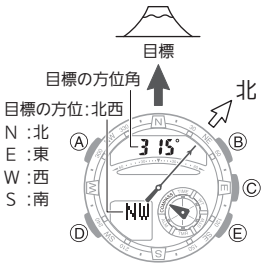
❶ 時計の 12 時位置を計測したい方向に向けます。

❷ 時計を水平に保ちながら、Ⓒ ボタンを押します。

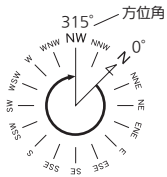
- モード針が「COMPASS」を指し、画面に［COMP］を表示します。約 2 秒後に 12 時位置が指す方位と方位角を表示します。
- 秒針は北方位を指します。
- 計測によって示す北方位は、磁北です。
  磁気偏角補正を使って、北方位を真北に設定することもできます。

磁北と真北…P.28

磁気偏角補正…P.25

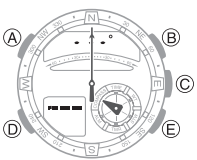


方位角の見方



- 最初の計測後、1 秒ごとに 20 秒間連続して計測します。計測が終わると方位および方位角に［- - -］を表示します。

計測終了後



❸ Ⓓ ボタンを押すと方位計測モードに入る直前のモードに戻ります。Ⓓ ボタンを 2 秒以上押し続けると、時刻モードに変わります。

参考

- 方位を表示していないときは、前回記録した計測値を表示した状態（ベアリングメモリー表示）になっています。Ⓔ ボタンを押すとベアリングメモリーを解除できます。

方位の記録（ベアリングメモリー）…P.26

- 方位計測モードでは、Ⓒ ボタンを押せば再計測ができます。ただし、設定中（デジタル表示が点滅）は再計測できません。
- 途中で計測を中止したいときは、Ⓓ ボタンを押すと方位計測モードに入る直前のモードに戻ります。
- 計測中の 20 秒間は、オートライトは点灯しません。
- 方位計測中にアラームなどの音が鳴ったときや Ⓑ ボタンを押してライト点灯させたときは、一時的に計測を中止し、アラーム音の後またはライト消灯後に計測を再開します。
- 方位計測に関する詳細は、以下を参照してください。

方位計測のご注意…P.28

方位を補正する

計測の精度を上げるため、計測の前に以下の方法で方位を補正してください。

◆方位補正の方法

2 点補正	正確な方位計と比較して、方角がずれている場合や、登山前の準備でお使いください。 • 2 点補正はセンサー自体の補正です。
磁気偏角補正	真北を北方位として設定するときに、磁気偏角角度（真北と磁北との角度差）をもとに補正します。

磁北と真北…P.28

重要

- 予備のコンパスと比較して計測した方位が異なる場合は、正しい方位を計測するため、2 点補正をしてください。なお、強い磁力がある場所では正しく計測や補正ができません。

使用場所…P.29

◆2 点補正

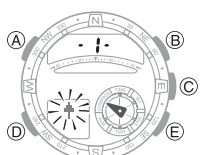
重要

- セットする 2 点は正確に 180 度反対方向にしてください。
- 補正中は、時計を水平にして動かさないでください。
- 実際に方位を計測する場所で補正してください（野外で方位を計測する場合は、野外で補正してください）。

❶ 方位計測モードに切り替えます。

❷ Ⓐ ボタンを押し続けると、秒針が 12 時位置に移動します。

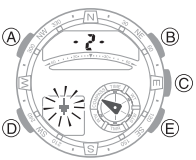
- 2 点補正の設定状態になります。
- 画面左下に矢印（↑）を表示し、画面上に［-1-］を表示して 1 点目の補正セット状態になります。



❸ 時計を水平に置き、Ⓒ ボタンを押します。

1 点目の補正計測を開始します。

- 補正計測中は画面上に［---］を表示します。
- 補正計測が成功すると画面左下に［OK］と表示され、下向きの矢印（↓）に変わります。画面上に[-2-]を表示して 2 点目の補正セット状態になります。



❹ 時計を 180 度回転させます。

❺ Ⓒ ボタンを押します。

2 点目の補正計測を開始します。

- 補正計測中は画面上に［---］を表示します。
- 補正計測が成功すると画面左下に［OK］を表示し、方位計測を開始します。
- 2 点補正に失敗した場合、1 点目の補正セット状態になります。

◆磁気偏角補正

表示する北方位を磁北ではなく真北にするときは、「磁気偏角の方角（東偏または西偏）と角度」を設定します。

磁北と真北…P.28

参考

- 「磁気偏角の方角と角度」は、地形図や登山地図のような等高線が描かれた地図に記載されています。また、国土地理院のホームページなどで調べることもできます。

❶ 方位計測モードに切り替えます。

❷ Ⓐ ボタンを押し続けると、秒針が 12 時位置に移動します。

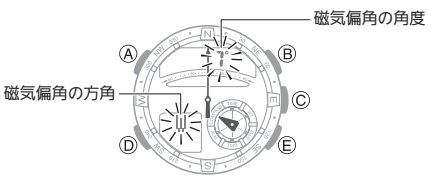
2 点補正の設定状態になります。

❸ Ⓓ ボタンを押します。

磁気偏角補正の設定画面になり、現在の設定を表示します。

❹ Ⓑ または Ⓔ ボタンを押して、磁気偏角の方角と角度を設定します。

北の設定	設定値
磁北にするとき	OFF, 0°
真北にするとき	E 90°～W 90° E：東偏（磁北が真北よりも東） W：西偏（磁北が真北よりも西）



- Ⓑ または Ⓔ ボタンを押し続けると早送りできます。
- Ⓑ ボタンと Ⓔ ボタンを同時に押すと、磁気偏角補正が［OFF, 0°］になります。
- 上記の図は、地図に「西偏 7°（度）」とある場合の磁気偏角の方角と角度の入力例を示しています。

❺ Ⓐ ボタンを押して補正を終了します。

方位の記録（ベアリングメモリー）

目標（目的地）の方向を記録して、それを頼りに進むことができます。

◆計測した方位を記録する

❶時計の 12 時位置を計測したい方向に向けます。

❷時計を水平に保ちながら、Ⓒ ボタンを押します。

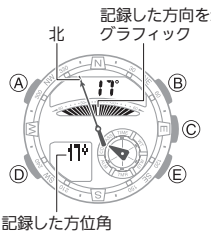
- モード針が「COMPASS」を指します。
- 画面に［COMP］を表示し、計測を開始します。

参考

- 画面左下に数値を表示しているときは、前回記録した計測値を表示した状態（ベアリングメモリー表示）になっています。その場合は、Ⓔ ボタンを押してベアリングメモリーを解除してください。

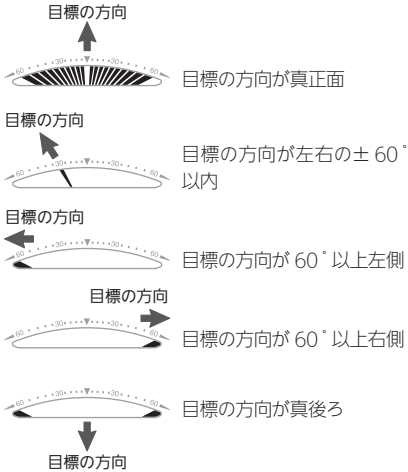
❸方位測定中の約 20 秒の間に Ⓔ ボタンを押し、計測した方位を記録します。

- 記録した方位角を表示し、約 20 秒間の方位計測を開始します。
- 方位計測中の約 20 秒間、記録した方向をグラフィックで示します。



- Ⓔ ボタンを押すと記録した方位角とグラフィックを消去し、再度、約 20 秒間の計測を開始します。

• グラフィックが示す「目標の方向」の見かたは以下のとおりです。



• 目標の方向が真正面以外のときは、体を回転させながら真正面の方向を探してください。

◆使用例：目標（目的地）の方向を確認しながら進む

目的地が見えなくても、地図に載っている目的地の方向をベアリングメモリーに記録し、それを頼りに目的地へ近づくことができます。

❶ 整置をします。

地図の向きと実際の風景を合わせる（整置）…P.28

❷ 地図上の現在地に時計を置き、時計の 12 時位置を地図上の目的地へ向けます。

❸ Ⓔ ボタンを押して目的地の方向をベアリングメモリーに記録します。

記録した方向を確認しながら進めば、目的地へ近づくことができます。

重要

• 自分が移動するにつれて目的地の方向も変化しますので、なるべくこまめに記録しなおしてください。

◆地図の向きと実際の風景を合わせる（整置）

地図の向きを、この時計で計測した北方向に合わせれば、地図と周囲の風景を見比べて現在地や目的地を確認できます。これを一般に「整置」と呼びます。

- 整置をする際は、この時計が計測する北方位を真北に設定してください。

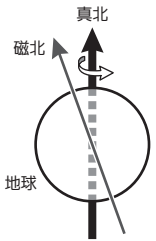
磁北と真北…P.28

磁気偏角補正…P.25

方位計測のご注意

◆磁北と真北

北を示す地理用語には磁北と真北の 2 種類があります。
磁北：コンパス（方位磁針）が示す北
真北：北極点の方向
下図のように、磁北と真北は一致していません。



- 一般に市販されている地図の「北」は真北のことです。

◆使用場所

強い磁力の近くで計測すると、計測値に誤差が発生します。以下のものから離れてご使用ください。

永久磁石（磁気アクセサリーなど）、金属類、高圧線、架線、家庭電化製品（テレビ、パソコン、携帯電話など）

- 室内、特に鉄筋コンクリート構造の建物内では、正確な計測はできません。
- 電車、船、飛行機などの乗り物の中では、正確な計測はできません。

◆保管場所

時計本体が磁気を帯びた場合、方位計測の精度に影響を及ぼす恐れがあります。以下のものの近くには置かないでください。

永久磁石（磁気アクセサリーなど）、金属類、
家庭電化製品（テレビ、パソコン、携帯電話など）

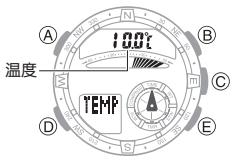
温度計測

この時計は、温度を計測することができます。

温度を計測する

●時刻モードで、Ⓔボタンを押します。

［TEMP］を表示し、約１秒後に計測結果を表示します。



- ５秒ごとに約２分間、計測し続けます。
- 約２分間の計測が終わると、時刻モードに戻ります。
- 途中で計測を中止したいときは、Ⓔボタンを押すと時刻モードに戻ります。

◆計測範囲

計測範囲：－ 10.0˚C ～ 60.0˚C（計測単位：0.1˚C）

- 計測範囲を超えたときは、［- -. -］を表示します。

温度の計測値を補正する

この時計に内蔵している温度センサーは、工場出荷時に調整されているため、通常は補正の必要がありません。ただし、計測値に大きなずれが発生したときは、表示を補正することができます。

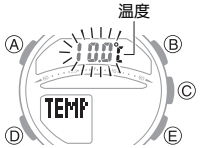
✓重要

- 補正を誤ると正しい計測結果が得られません。正確な温度計と照らし合わせて正しい数値に補正してください。
- 補正をする場合は、時計を腕から外し、時計本体が周囲の温度になじむまで（20 ～ 30 分）待ってから行ってください。

❶ 温度計測モードに切り替えます。

❷ Ⓐ ボタンを押し続け、温度表示が消えたらボタンを離します。

温度表示が点滅します。



❸ Ⓔ または Ⓑ ボタンを押して、値を補正します。

- 補正単位は 0.1℃です。
- Ⓔ または Ⓑ ボタンを押し続けると早送りできます。

参考

- Ⓔ ボタンと Ⓑ ボタンを同時に押すと、［OFF℃］と表示された後、補正する前の計測値に戻ります。

❹ Ⓐ ボタンを押して補正を終了します。

温度計測モードに戻ります。

温度計測のご注意

温度計測は体温（時計を腕にはめている場合）、直射日光、湿気の影響を受けます。正確な温度を計測するためには、腕から時計を外し、水分を拭き取り、換気が良く直射日光の当たらない所に置いてください。約 20 ～ 30 分で周囲の温度を計測できます。

ワールドタイム

世界 48 都市（31 タイムゾーン）の時刻を知ることができます。ワールドタイムモードで選択した都市を「ワールドタイム都市」といいます。

ワールドタイムモードを選ぶ

●時刻モードで Ⓓ ボタンを押すと、ワールドタイムモードに切り替わります。

- モード針が「WT」を指し、都市コードと都市名を右から左に流れて表示（スクロール表示）した後、都市コードの表示になります。
- Ⓐ ボタンを押すと、都市コードと都市名が 1 回スクロール表示します。
- アナログ針は現在時刻を指します。



ワールドタイム都市、サマータイムを設定する

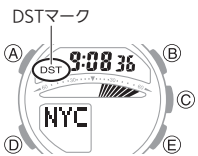
❶ワールドタイムモードで Ⓔ ボタンを押して、都市コードを選択します。

UTC（協定世界時）とタイムゾーン…P.56
都市コード一覧表…P.57

- 選択した都市の現在時刻を表示します。
- Ⓔ ボタンを押し続けると早送りできます。
- Ⓑ ボタンと Ⓔ ボタンを同時に押すと、都市コードが「UTC」に変わります。

❷ Ⓐ ボタンを 2 秒以上押し続けます。

- サマータイムの設定が切り替わります。
- 表示時刻がサマータイムのときは、［DST］を表示します。



参考

- サマータイムとは、DST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻（スタンダードタイム）から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの実施期間や実施地域は、国によって異なります。また、サマータイム制度を採用していない国や地域もあります。
- ワールドタイム都市に「UTC」を設定した場合は、サマータイム設定はできません。
- サマータイム設定は、選択している都市コードのみ適用します。他の都市コードには影響しません。

ホームタイムとワールドタイムの入れ替え

針が示すホーム都市の時刻と、画面が表示するワールドタイム都市の時刻が入れ替わります。

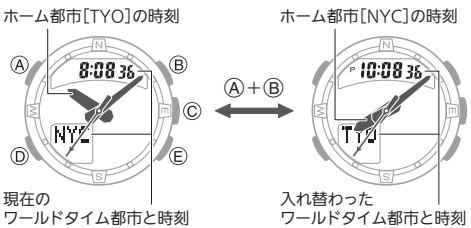
- ワールドタイムモードと時刻モードの都市コードも入れ替わります。

参考

- 事前に都市の設定が必要です。

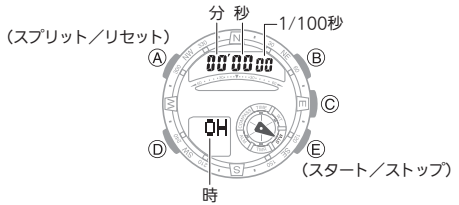
ホーム都市、サマータイムを設定する…P.18
ワールドタイム都市、サマータイムを設定する…P.32

Ⓐ ボタンと Ⓑ ボタンを同時に押します。



ストップウオッチ

1/100秒単位で23時間59分59.99秒まで計測できます。
計測範囲を超えた場合は、0に戻って計測を続けます。



ストップウオッチモードを選ぶ

●時刻モードで Ⓓ ボタンを 2 回押すと、ストップウオッチモードに切り替わります。

モード針が「STW」を指します。

計測する

●ボタン操作は、以下の通りです。

- 経過時間計測

Ⓔ → Ⓔ → Ⓔ → Ⓔ → Ⓐ
スタート　ストップ　（再スタート）（ストップ）　リセット

- スプリットタイム（途中経過時間）計測

Ⓔ → Ⓐ → Ⓐ → Ⓔ → Ⓐ
スタート　スプリット　スプリット解除　ストップ　リセット

- 1・2 着同時計測

Ⓔ → Ⓐ → Ⓔ → Ⓐ → Ⓐ
スタート　スプリット　ストップ　スプリット解除　リセット
1着ゴール　2着ゴール（2着のタイム表示）
（1着のタイム表示）

参考

- 計測を開始後は、他のモードに切り替えたり、計測範囲を超えても Ⓐ ボタンでリセットするまで計測を継続します。
- スプリット計測中に他のモードへ切り替えると、スプリットが解除されて経過時間を表示します。

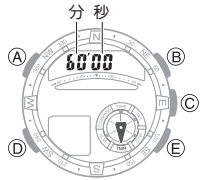
タイマー

タイマーは、1分単位で60分まで設定することができます。タイムアップになると 10 秒間のタイムアップ音が鳴ります。

計測時間を設定する

❶時刻モードで Ⓓ ボタンを 3 回押すと、タイマーモードに切り替わります。

モード針が「TMR」を指します。



❷Ⓐ ボタンをタイマーの「分」表示が点滅するまで（約 2 秒間）押し続けます。

- タイマー計測中の場合は、Ⓔ ボタンを押して計測を停止してから Ⓐ ボタンを押して計測時間をリセットします。
- タイマー計測が一時停止している場合は、Ⓐ ボタンを押して計測時間をリセットします。

❸Ⓔ または Ⓑ ボタンを押して、「分」を設定します。

- Ⓔ または Ⓑ ボタンを押し続けると早送りできます。

❹Ⓐ ボタンを押して設定を終了します。

計測する

●タイマー計測のボタン操作は、以下の通りです。

Ⓔ → Ⓔ → Ⓔ → Ⓔ → Ⓐ
スタート　ストップ　（再スタート）（ストップ）　リセット

参考

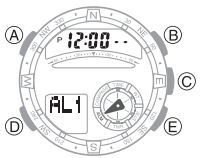
- 他のモードに切り替えていても、タイムアップ音が鳴ります。

タイムアップ音を止める

●いずれかのボタンを押すとタイムアップ音が止まります。

アラーム・時報

アラームは 5 つの時刻を設定できます。設定した時刻になるとアラーム音が約 10 秒間鳴ります。スヌーズアラームはアラーム音を 5 分おきに合計 7 回繰り返します。また、毎正時（00 分）に時報を鳴らすこともできます。



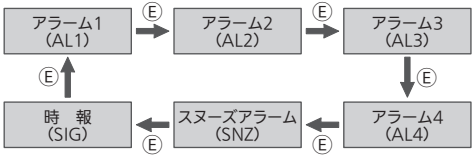
アラームモードを選ぶ

●時刻モードで Ⓓ ボタンを 4 回押すと、アラームモードに切り替わります。

モード針が「ALM」を指し、アラーム番号（[AL1] ～ [AL4]、[SNZ]）または [SIG] を表示します。

アラーム時刻を設定する

❶アラームモードで Ⓔ ボタンを押して、設定するアラーム番号を選択します。



❷Ⓐ ボタンをアラーム時刻の「時」表示が点滅するまで（約 2 秒間）押し続けます。

アラーム時刻設定画面に切り替わります。

❸ Ⓓ ボタンを押すごとに、「時」または「分」の選択が切り替わります。

選択している方が点滅表示します。



❹ Ⓔ または Ⓑ ボタンを押して、「時」または「分」を設定します。

- Ⓔ または Ⓑ ボタンを押し続けると早送りできます。
- 12 時間制で表示している場合、午後は［P］を表示します。

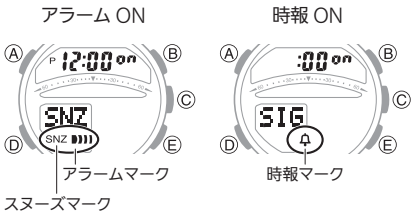
❺ Ⓐ ボタンを押して、設定を終了します。

アラーム・時報の ON/OFF

❶ アラームモードで Ⓔ ボタンを押して、設定するアラーム番号または時報を選択します。

❷ Ⓐ ボタンを押して、アラームまたは時報の ON/OFF を切り替えます。

5 つのアラームのうち 1 つ以上のアラームを ON にすると、アラームマーク（スヌーズアラームの場合はスヌーズマークも）が点灯します。時報を ON にすると、時報マークが点灯します。



アラーム音を止める

●いずれかのボタンを押すとアラーム音が止まります。

参考

- スヌーズアラームの場合、7 回の繰り返しが終わるまで約 5 分ごとにアラーム音が鳴ります。
- スヌーズアラーム機能中（スヌーズマークが点滅）に以下の操作をすると、点滅が止まり、スヌーズアラームが終了します。
  - スヌーズアラームを OFF に切り替えた
  - スヌーズアラームのセット状態にした
  - 時刻モードのセット状態にした

アラーム音を確認する（モニターアラーム）

●アラームモードで Ⓔ ボタンを押し続けると、押している間、アラーム音が鳴ります。

ライト

暗いところで時計の表示を見るときに、ライトを点灯させて画面を明るくすることができます。また、時計の傾きによってライトを点灯させるオートライト機能を設定できます。

ボタンを押して点灯させる

●「セット中（表示点滅）」以外のどのモードのときでも、Ⓑ ボタンを押すと、ライトが点灯します。

参考

- ライト点灯中にアラーム音が鳴ると、消灯します。

自動的に点灯させる（オートライト）

オートライト機能が ON のとき、時計を 40˚以上傾けるとライトが点灯します。



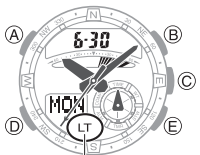
参考

- 以下の状態のとき、オートライト機能は作動しません。
  - アラーム音が鳴っているとき
  - 方位計測モードのとき
- 温度計測中は、タイミングによっては遅れて点灯することがあります。

◆オートライトの ON/OFF 設定

●時刻モードで Ⓑ ボタンを 3 秒以上押し続けて、オートライト機能の ON/OFF を切り替えます。

オートライト ON のときは［LT］を表示します。



オートライトONマーク

参考

- バッテリーマークが表示されると、オートライト機能が OFF になります。

参照…P.45

◆オートライトに関する注意事項

- 以下の図のように、時計が水平状態から 15 度以上傾いていると、点灯しにくくなります。



- 静電気や磁気の影響でオートライトが作動しないことがあります。その場合、もう一度時計を水平状態にしてから傾けてください。
- 時計を傾けたとき、内部から「カラカラ」と音がする場合があります。これは、オートライトスイッチの作動音で、故障ではありません。
- オートライトを設定して 6 時間経過すると、自動的にオートライト OFF になります。

点灯時間を切り替える

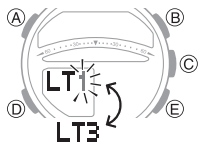
❶ 時刻モードで Ⓐ を押し続け、［ADJ］と表示されたらボタンから手を離します。

［SET］が点滅表示し、設定状態に入ります。

❷ Ⓓ ボタンを 10 回押して、ライト点灯時間選択画面に切り替えます。

参照…P.20

［LT1］または［LT3］を表示します。



❸ Ⓔ ボタンを押して、［LT1］（1.5 秒間点灯）または［LT3］（3 秒間点灯）を選択します。

❹ Ⓐ ボタンを押して設定を終了します。

針のずれ補正

強い磁気や衝撃を受けると、針の時刻とデジタル表示の時刻がずれることがあります。そのようなときは、針のずれを補正します。

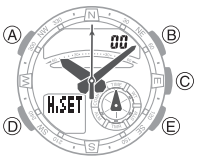
重要

- 針の時刻とデジタル表示の時刻が合っている場合は、この操作を行う必要はありません。

針のずれを補正する

❶ 時刻モードで Ⓐ ボタンを約 5 秒間押し続け、［H.SET］を表示したらボタンを離します。

- 秒針が 12 時位置に移動し、秒針の補正状態になります。
- Ⓐ ボタンを押し続けると約 2 秒後に［ADJ］と表示されますが、［H.SET］を表示するまでそのまま押し続けてください。
- 針の補正は、「秒針」、「時・分針」、「モード針」の順で行います。Ⓓ ボタンを押して補正する針を選択します。選択された針は 12 時位置へ移動します。
- 選択された針が 12 時位置にないときは、手順2の操作で 12 時位置に合わせてください。



❷ Ⓔ ボタンまたは Ⓑ ボタンを押して、選択された針を 12 時位置に合わせます。

- Ⓔ ボタンまたは Ⓑ ボタンを押し続けると、針を早送りすることができます。
- 秒針とモード針の早送りは 1 回転で、分針の早送りは 12 回転で停止します。時針は分針に連動して動きます。

❸ Ⓐ ボタンを押すと、時刻表示に戻ります。

重要

- 針のずれ補正が終了したら、針の時刻とデジタル表示の時刻が合っているかご確認ください。もしずれている場合は、再度針のずれ補正を行ってください。

ボタン操作音の ON/OFF

ボタンを押したときに鳴る操作音の ON/OFF 設定ができます。

❶ 時刻モードで Ⓐ を押し続け、［ADJ］と表示されたらボタンから手を離します。

［SET］が点滅表示し、設定状態に入ります。

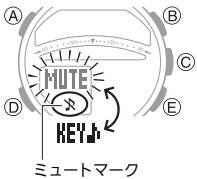
❷ Ⓓ ボタンを 9 回押して、操作音の ON/OFF 設定画面に切り替えます。

参照…P.20

［KEY ♪］または［MUTE］を表示します。

❸ Ⓔ ボタンを押して、［KEY ♪］（操作音 ON）または［MUTE］（操作音 OFF）を選択します。

操作音の設定を OFF にすると、ミュートマークを表示します。



ミュートマーク

❹ Ⓐ ボタンを押して設定を終了します。

参考

- 操作音の設定が OFF の場合でも、アラーム音、時報、タイマー音は鳴ります。

電池の交換時期

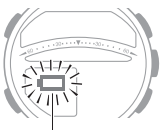
電池の残量が少なくなると、電池マークを点滅してお知らせします。電池を交換してください。

参考

- 電池寿命の目安および使用電池は「製品仕様」を参照してください。

製品仕様…P.48

電池マークが点滅すると、以下の状態になります。



- 針が停止します。
- 電池マーク以外は表示しません。
- 報音しません。
- ライトが点灯しません。
- 操作ができません。

参考

- センサー計測、ライト、アラームなどを短時間に連続使用したときも、電池の電圧が急激に低下して、電池マークが点滅します。この場合、点滅が消えて機能が復帰することがありますが、電池残量は少なくなっていますので、電池交換をお勧めします。

故障かな？と思ったときは

時刻設定

状況	原因と対処
現在時刻の表示が数時間ずれている	ホーム都市の設定が正しくありません。ホーム都市の設定を確認してください。 ホーム都市、サマータイムを設定する…P.18
現在時刻の表示が 1 時間ずれている	スタンダードタイムとサマータイムの設定が正しくありません。スタンダードタイムとサマータイムの設定を確認してください。 ホーム都市、サマータイムを設定する…P.18

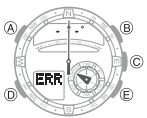
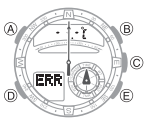
ワールドタイム

状況	原因と対処
設定したワールドタイム都市の時刻がずれている	サマータイム設定（スタンダードタイム／サマータイム）が正しくありません。 ワールドタイム都市、サマータイムを設定する…P.32

電池

状況	原因と対処
電池マークが点滅している  電池マーク	電池の残量が少なくなっています。電池を交換してください。 電池の交換時期…P.44

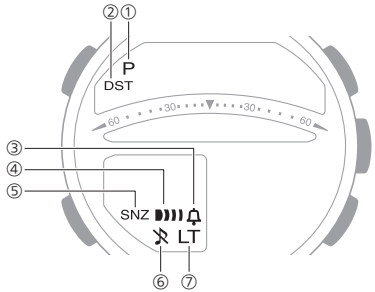
方位、温度の計測

状況	原因と対処
計測中に［ERR］を表示した **方位計測時**  **温度計測時**  	センサーや内部回路が故障すると［ERR］（エラー）を表示し、センサー機能が使用できなくなります。 • 計測中に［ERR］を表示したときは、計測をやり直してください。また［ERR］を表示した場合、センサーの異常が考えられます。 • ［ERR］表示が消えない場合、センサーの故障が考えられます。「修理に関するお問い合わせ窓口」にご相談ください。

方位の計測

状況	原因と対処
2 点補正実施後、［ERR］を表示した	［- - -］が表示された後に［ERR］（エラー）が表示された場合、センサーの異常が考えられます。 • ［ERR］表示が約 1 秒後に消えた場合、もう一度補正してください。 • 何回か操作しても、［ERR］が表示されるときは、「修理に関するお問い合わせ窓口」にご相談ください。
予備のコンパス（方位磁針）と比較して、計測した方位が異なる	強い磁力がある場所から離れて、2 点補正をした後、計測してください。 2 点補正…P.24 使用場所…P.29
同じ場所で計測結果が異なる	強い磁力がある場所から離れて、計測してください。 使用場所…P.29
室内での方位計測ができない	強い磁力がある場所から離れて、計測してください。 使用場所…P.29

主な機能表示



番号	名称	参照ページ
①	午後マーク	P.17
②	DST マーク	P.19
③	時報マーク	P.37
④	アラームマーク	P.37
⑤	スヌーズマーク	P.37
⑥	ミュートマーク	P.43
⑦	オートライト ON マーク	P.40

製品仕様

精　　度 : 平均月差±15秒

基本機能 : アナログ部
時・分（10秒運針）・秒
デジタル部
時・分・秒・月・日・曜日、
午前 / 午後（P）/24時間制表示、
フルオートカレンダー（2000～2099年）

方位計測機能 : 方位角の計測範囲　0˚～359˚
方位補正機能(2点)、20秒間の連続計測機能、ベアリングメモリー機能、磁気偏角補正機能

温度計測機能 : 計測範囲　－10.0℃～60.0℃
表示範囲　－10.0℃～60.0℃
計測単位　0.1℃
即時計測、温度調整機能

センサー精度 :

●方位センサー　計測精度　±15˚以内
（精度保証温度範囲　－10℃～40℃）
北方位指針の精度　±20˚以内

●温度センサー　計測精度　±2℃以内
（精度保証温度範囲　－10℃～60℃）

ワールドタイム機能 : 世界48都市(31タイムゾーン)とUTC(世界協定時)の時刻を表示、サマータイム設定機能、都市入れ替え機能

タイマー機能 : 計測単位　1秒
計測範囲　60分
セット単位　1分
セット範囲　1～60分(タイマー時間)

ストップウオッチ機能 : 計測単位　1/100秒
計測範囲　23時間59分59.99秒（24時間計）
計測機能　通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2着同時計測

アラーム機能 : 時刻アラーム
アラーム数　5本
（うち、スヌーズアラーム1本）
セット単位　時・分
アラーム報音時間　10秒間
時報　毎正時に2回電子音で報知

そ　の　他：LED オートライト、ライト点灯時間
切り替え、操作音 ON/OFF 設定、
電池切れ予告機能

使用電池：SR927W　2個（電池別途販売）

持続時間：約2年

- ライト 1 回（1.5 秒）/ 日
- アラーム 1 回（10 秒）/ 日
- 方位計測 20 回 / 月
- 温度計測 1 回 / 週

ご使用上の注意

■防水性

●防水時計は時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

		日常生活用防水	日常生活用強化防水		
			5気圧防水	10気圧防水	20気圧防水
表示	時計の表面または裏ぶたに表記	「BAR」表記無し	5BAR	10BAR	20BAR
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

- 専門的な潜水＝スキューバダイビング（空気ボンベ使用）でのご使用はお避けください。

●時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

●防水構造の機種でも、以下のご使用はお避けください。
防水性能の低下や、ガラスの内側が曇る原因になります。
- 「水中で」および「時計に水分がついた状態で」りゅうずやボタンを操作すること
- 入浴のときに使用すること
- 温水プールやサウナなどの高温多湿な環境で使用すること
- 時計を手につけたまま手洗い／洗顔／家事などをするときに、石鹸や洗剤を使うこと

●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れを拭き取ってください。

●防水性を保つために定期的（2～3年を目安）なパッキン交換をおすすめします。

●電池交換の際、防水検査を行いますので、必ずお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください（特殊な工具を必要とします）。

●防水時計の一部にデザイン上、皮革バンドを使用しているモデルがありますが、皮革バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

●時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。
夏季に高温の室外から室内に入りエアコンの吹き出し口付近で冷気にさらされたり、冬季に暖かい室内から出て屋外の冷気や雪に触れた場合など、外気と時計内部の温度差が大きくなることによって曇る時間が長くなることがあります。
なお、曇りが消えなかったり、時計内部に水が残っている場合は、ただちにご使用をやめて、修理をお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。

■バンド

●バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

●バンドは、劣化やさびなどにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、時計の落下や紛失、けがの原因となります。バンドは常にお手入れをして清潔な状態でご使用ください。

●バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用をやめてください。点検・修理（有償）や新しいバンドとの交換を、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。

■温度

●自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。

●＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や＋40℃以上では、表示が見えにくくなることがあります。

■ショック

●通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。
ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/Baby-G/G-ms）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■磁気

●アナログ時計やコンビネーション（アナログとデジタル）時計は、針を動かすために磁石の性質を利用したモーターを駆動させる方式を採用していますが、このモーターは強い磁気（オーディオ機器のスピーカー、磁気ネックレス、携帯電話など）を発生する器具に近づけるとモーターの回転に影響を受け、針の「遅れ・進み・止まり・誤った時刻表示」などの原因となります。

●時計動作に影響を与えることはありませんが、製品自体が磁気を帯びますと精度に影響を与えますのでお避けください。
なお、極度に強い磁気（医療機器など）は、誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

■静電気

●静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。

●静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

■薬品類

●シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■樹脂部品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取って、乾かしてください。
- スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

■皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が皮革バンドに移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに柔らかい布などで軽く拭いて、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
  ご注意：皮革バンドは、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■金属部品について

- 金属は、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さびが発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などでよく拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、よく乾燥させてください。
- ときどき、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。

■抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性の良い柔らかい布で拭き取り、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなることがあります。

■センサーについて

● 本機のセンサーは精密機器ですので、絶対に分解しないでください。また、センサー部を細い棒などでついたり、ゴミ・ほこりなどが入らないようにご注意ください。なお、海水に浸したときは、必ず真水で洗い流してください。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

時計も衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ・汗・水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- 金属バンドおよび樹脂バンドの金属部品は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。
- 樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- 皮革バンドは、水や汗がついた場合には、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- りゅうずやボタンや回転ベゼルは、長期間操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、りゅうずや回転ベゼルを回したり、ボタンを押したりしてください。

■お手入れを怠ると

〈さび〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
  - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- さびが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理（有償）をお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮革バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

- 電池交換は必ずお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行います。
- 樹脂（外装）部品は日々のご使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。電池交換ご依頼品の樹脂部分にひびなどの異常がある場合、破損の恐れがありますので作業を行わずにご返却する旨のご案内をさせていただくことがございます。あらかじめご了承ください。

■最初の電池

- お買い上げの時計に組み込まれている電池（モニター用電池）は、工場出荷時点に時計の機能や性能をチェックするために組み込まれたものです。
- お客様がお買い上げになるまでの期間に電池は消耗しますので、モニター用電池は取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

■電池の消耗

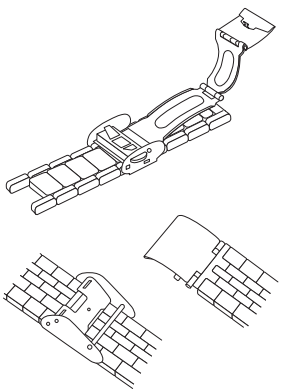
- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンド（フリータイプの中留構造バンド※を除く）の駒詰めには専用の工具が必要となります。
お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはけが等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。
なお、「持込修理サービス受付窓口」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。
詳しくは、「持込修理サービス受付窓口」または「修理に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

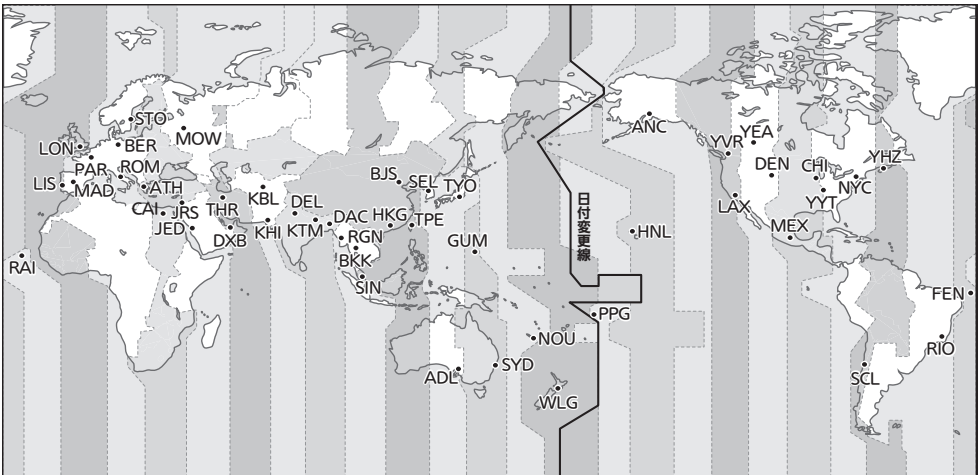
※ 中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

（例）



UTC（協定世界時）とタイムゾーン

地図から目的地のタイムゾーンをご確認ください。



JST（日本標準時）との時差																								
-11	-10	-9	-8	-7	-6	-5	-4	-3	-2	-1	0	1	2	3	-20	-19	-18	-17	-16	-15	-14	-13	-12	-11
UTC（協定世界時）との時差																								
-2	-1	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	-11	-10	-9	-8	-7	-6	-5	-4	-3	-2

都市コード一覧表

コード		タイムゾーン	都市名
UTC（協定世界時）		0	
LIS	LISBON	0	リスボン
LON	LONDON	0	ロンドン
MAD	MADRID	＋1	マドリード
PAR	PARIS	＋1	パリ
ROM	ROME	＋1	ローマ
BER	BERLIN	＋1	ベルリン
STO	STOCKHOLM	＋1	ストックホルム
ATH	ATHENS	＋2	アテネ
CAI	CAIRO	＋2	カイロ
JRS	JERUSALEM	＋2	エルサレム
MOW*	MOSCOW	＋3	モスクワ
JED	JEDDAH	＋3	ジェッダ
THR	TEHRAN	＋3.5	テヘラン
DXB	DUBAI	＋4	ドバイ
KBL	KABUL	＋4.5	カブール
KHI	KARACHI	＋5	カラチ
DEL	DELHI	＋5.5	デリー

コード		タイムゾーン	都市名
KTM	KATMANDU	＋5.75	カトマンズ
DAC	DHAKA	＋6	ダッカ
RGN	YANGON	＋6.5	ヤンゴン
BKK	BANGKOK	＋7	バンコク
SIN	SINGAPORE	＋8	シンガポール
HKG	HONG KONG	＋8	香港
BJS	BEIJING	＋8	北京
TPE	TAIPEI	＋8	台北
SEL	SEOUL	＋9	ソウル
TYO	TOKYO	＋9	東京
ADL	ADELAIDE	＋9.5	アデレード
GUM	GUAM	＋10	グアム
SYD	SYDNEY	＋10	シドニー
NOU	NOUMEA	＋11	ヌーメア
WLG	WELLINGTON	＋12	ウェリントン
PPG	PAGO PAGO	－11	パゴパゴ
HNL	HONOLULU	－10	ホノルル
ANC	ANCHORAGE	－9	アンカレジ

コード		タイムゾーン	都市名
YVR	VANCOUVER	－8	バンクーバー
LAX	LOS ANGELES	－8	ロサンゼルス
YEA	EDMONTON	－7	エドモントン
DEN	DENVER	－7	デンバー
MEX	MEXICO CITY	－6	メキシコシティ
CHI	CHICAGO	－6	シカゴ
NYC	NEW YORK	－5	ニューヨーク
SCL	SANTIAGO	－4	サンティアゴ
YHZ	HALIFAX	－4	ハリファックス
YYT	SAINT JOHN'S	－3.5	セントジョンズ
RIO	RIO DE JANEIRO	－3	リオデジャネイロ
FEN	F. DE NORONHA	－2	フェルナンド・デ・ノローニャ
RAI	PRAIA	－1	プライア

* 2013 年 12 月現在、モスクワの時差は「+4」に変更されていますが本機では対応していません。サマータイム設定を ON にして、1 時間進めてご使用ください。

参考

- この表は、本機の都市名一覧です。
- 設定する都市コードがわからないときは、使用場所の時差を確認し、時差が一致する都市コードを選択してください。
- 時差は協定世界時（UTC）を基準にしています。